

# 「子供が学ぶ」 My 授業づくり シート

## ～拡散と収束のある学び 須田小学校 中野 和美

### ◆「子供が学ぶ姿」

子供の「よく分からない」を「はっきりさせたい」に高まることで、子供は、友達の考えを付け加えたり、新たな考えを思い付いたりすることで、考えをより深めていきます。

### 算数学習編

### ◆教師の役割～日常的な4つの役割

次の4つのことを中心に、授業づくりに取り組んでいます。

- ① 授業で考えること（学習課題）のしかけ
- ② 子供から様々な考えを引き出すしかけ
- ③ 様々な考えを整理するしかけ
- ④ 自分の学びをまとめるしかけ

### 学習課題のしかけ ?を感じる

#### ◆子供が、学習のめあてをもつ

- ① 学習する必然性をもつための資料を示す（グラフや表で視覚的に理解できるように）
- ② 生活経験（既知）を引き出すと同時に、「わからなさ（未知）」を意識させる
- ③ 考える視点を絞る（考える場面・条件の限定）

### 拡散のしかけ

#### ◆子供から、様々な考えを引き出す「土台となる考え方」を確認する

- ① 学習課題を解決する「土台となる考え方」を、例をあげて教える  
**グループ対話・ワークシート活用**
- ② 自分の考えを友達と伝え合う場を作る  
**子供の「思い込み」を広げる**
- ③ 対話スキル（理由・例示・一般化や、仮定（もし〜）を問うことで、子供たちの考えの不足・不明の部分等をはっきりさせる

### 収束のしかけ

#### ◆子供の考えを、整理する視点を示すグループの考えを交流する

- ① グループの考え（ワークシート等）をキーワードで短い言葉で置き換えさせる  
**キーワードで整理する**
- ② 子供が考えたことを簡単なキーワードで整理する

### まとめのしかけ 型でまとめる

#### ◆子供が、学習課題についてまとめる

- ① 学習の振り返りの書き出しの言葉を示す
- ② 黒板に書いてあるキーワードを使う

### 「けがの予防」

#### ◆今日の学習課題のしかけ

- ① 学校で多く起きるけがを示し、本時で学ぶ4つのけがの手当を考える必然性をもつ（動画）
  - ② 4つのけが（打撲・捻挫・火傷・切り傷）の手当の仕方を知っている情報を発表する
- ◎正しくけがの手当をするには、まず何をすればいいか（※③「まず」で限定する）

#### ◆今日の拡散のしかけ

- ① 正しい手当の方法・理由を「すり傷」を例に、考え方の「手本」を示す（清潔・圧迫・冷却の仕方や理由を教える）
- ② 「擦り傷」を土台に、「打撲・捻挫・火傷・鼻血」から1つ選び、3～4人グループで話し合う
- ③ 「もし手でなく足に」「もし服の上からお湯が」等、場面・条件を広げる問いで思考を広げる

#### ◆今日の収束のしかけ

- ① グループで考えたことを、全体に発表する（清潔・圧迫・冷却のどれを優先するか、その理由の2点に絞り黒板で整理確認する）
- ② けがによって優先することが違う理由を問う＜優先する（圧迫・清潔・冷却）の理由の違い＞  
圧迫（血を止めることを優先）…切り傷、鼻血  
清潔（ばい菌の侵入を止める）…すり傷  
冷却（きずの広がりを止める）…火傷（直接）打撲（関節）

#### ◆今日のまとめのしかけ

- ① 「けがをした時に、まず大切なことは、清潔・圧迫・冷却の3つです。例えば、切り傷なら、まず圧迫することが大切です。その際、血が出るのをおさえるため、けがをしたところを心臓より上にします。足にけがをした時には〜」



【導入】 学校では、どんなけがが起きているのかな



【拡散】 グループで交流 ※机間指導 「もし〜」で、子供の思考を広げる



【収束】 グループの発表を聞く（手当の優先順位と理由の2点に絞る）



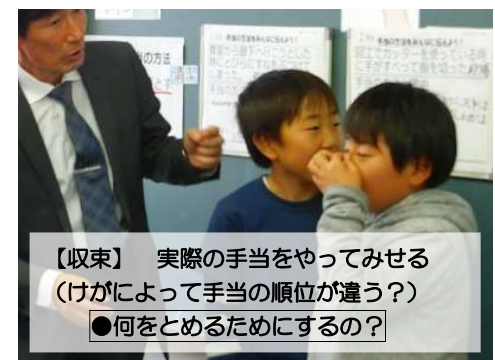
【まとめ】 学習のふりかえりをする書き出しの言葉やプリントでまとめる



【拡散】 正しい手当の手本を示す。（血管模型で、圧迫の目的を説明）



【拡散】 グループで交流 ※机間指導 「もし〜」で、子供の思考を広げる



【収束】 実際の手当をやってみせる（けがによって手当の順位が違う？）  
●何をとめるためにするの？